令和８年９月定例会議事録

令和８年９月10日

鹿屋市教育委員会

○日　時　令和８年９月10日（木）
　　15時から17時まで

○場　所　教育長室

○出席者

教育長	中　野　健　作
教育長職務代理者	遠　矢　達　一
教育委員	浜　田　幸　史
教育委員	四郎園　佳　恵
教育委員	前　田　あ　ゆ

○関係者

教育部長	隈　元　成　人
教育総務課長	曽　原　　学
学校教育課長	小　野　武　利
生涯学習課長	口ノ町　　亨
教育総務課長補佐	中　村　尚　子
教育総務課管理係長	徳　永　　仁

○議事日程

１　開会

２　前回議事録の承認

３　議事
(1) 議案第11号　令和８年度鹿屋市一般会計補正予算(第３号)について

４　報告
(1) 学校給食へのうなぎ無償提供について

(2) 不登校児童生徒支援フォーラムについて

(3) 第14回キッズチャレンジフェスタについて

(4) オープンスクール2026について

(5)【書道部】全日本高校・大学書道展団体賞・大賞(個人)受賞について

(6) サマーベースキャンプ2026について

(7) 文化財ウォッチングについて

５　動議の討論等

６　その他(お知らせ)
・市内小中学校及び鹿屋女子高校の運動会・体育大会の日程について
・鹿屋市グローカルコンテストの開催について
・令和８年度鹿屋市家庭教育講演会の開催について
・令和８年度鹿屋市生涯学習講演会の開催について
・かのやふるさと検定の開催について
・ラブヒコの歴史ひろばの開催について
・鹿屋看護専門学校第19回白爛祭（学校祭）の開催について

７　委員の報告

８　閉会

○議決事項

議案番号	件　　名	審議の状況	採決次第
議案第11号	令和８年度鹿屋市一般会計補正予算(第３号)について	特記事項なし	原案可決

○議事要旨

1	開　　会
教育長	皆さんこんにちは。 早いもので、もう９月の中旬に入ろうかというところです。最近、大雨などの自然災害が全国的に起こっています。今まで、あまり大雨災害がなかったような場所でも被災しています。やはり、事前の一策、事後の百策に勝る。何かある前に、きちっと対策しておくことが、事を大きくしないとか、逃れられるとか、そういったことに繋がると、改めて思っています。鹿屋の学校や教育委員会で、この事前の一策に当たるのは何か。子どもたちの安全や学力保障も含めて大事であり、知恵を出し合って、良い教育につないでいかないといけないと思っています。 一方、９月議会がスタートしました。一般質問については、１会派と、７個人からの質問がありました。一番多かったのは、避難所指定されている体育館空調に関する質問で、やはり市民も含め、災害に関する対応について、教育委員会や学校が協力できることを問われているところです。その他、多岐に渡って様々なことを、質問いただいています。 今日は、いくつかの報告が中心ですが、どうぞよろしくお願いいたします。
2	前回の議事録の承認
教育長	異議なく承認
3	議事
	(1)　議案第11号　令和８年度鹿屋市一般会計補正予算（第３号）について
教育総務課長	資料に基づき説明
教育長	原案可決することに異議はないか。 （異議なしとの発言）
教育長	異議がないので、議案第11号は、原案可決とする。

4	報告
	(1) 学校給食へのうなぎ無償提供について
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	テレビを私もたまたま見ましたが、子どもたちの表情が大変よくて、良い塩梅に報道されていました。全部で500kg。金額にして幾らでしたか。
学校教育課長	金額はわからないですが、2,500尾とのことです。
教育長	2,500尾。すごいですね。社長さんは、以前、給食でウナギが出たときに、それを残している子供たちがいて、あまり美味しくないようなイメージが子どもたちに持たれているんじゃなかろうかと。自分のところは味に自信があるから、おいしいうなぎをみんなに食べさせたいと、そんなことをおっしゃっていました。素晴らしいうなぎを出していただき、子どもたちは大変喜んでおりました。翌日以降も、学校を分けて提供ができたところです。
	(2) 不登校児童生徒支援フォーラムについて
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	この不登校児童生徒支援フォーラムは、あちこちで開催されているものではないようです。私も、以前、関東のどこかで実施されているものを教育長さんから教えていただき、これは良いと思って調べましたが、あまり見当たらなかったため、我々で始めました。もちろん、実施しているところはあると思いますが、珍しい取組かもしれません。 アンケート結果をみると、フォーラム内容で良かったものについて、関係機関の発表が92件で最も多くなっており、やはり、そのような取組が十分に知られていなかったのではないかと思います。学校や教育委員会は何らかの対応をしているだろうという認識がある中で、こうしたさまざまな情報も含め、必要な情報がきちんと届くようにしていかなければならないと感じました。自由記述の内容についても、皆さんの評価はおおむね良かったようです。
遠矢委員	聞きに行って、やっぱり大隅地区の他市町からも参加があり、良い取組をしていると言っていましたし、不登校の子どもを持つ保護者は、ど

	こに相談したらいいかとか、学校の先生と繋がっていれば相談しやすいが、それ以外の他の取組事例を知りことができるのがいいと思った。
教育長	不登校児童生徒を持つ保護者が30名ぐらいいらしていたようで、その人たちにとってもいい機会だったと思います。
前田委員	南日本放送のMBCラジオの生放送で、高校生と一緒に「９月１日を迎えるあなたへ」に出演させていただいた。内容に関して、意外と現役の養護教諭の先生から連絡があり、私も話しながらだんだんと先生たちに、手を差し伸べたくなるような気持ちになりながら、話したところでした。 高校では、小中学校のような支援体制が十分でなく、保護者と子どもだけで対応せざるを得ない場面が多いという感想や、現役の養護教諭の先生たちから、言えない子たちが多いという感想をいただいた。 何か色々、行ける場所があることを、教えていただける場があるというのは良い。言えない子たちが、いろんな先生たちと、保護者と繋がれる方がいるんだよ、という情報がないということを感じた。
教育長	そのようなことを含めて、親や家庭への情報をどうしようかということで、リーフレットを作成し、鹿屋の全家庭に配布しました。また、各市町村にも送付しました。
前田委員	私のラジオ出演の時に、リーフレットを手元に置いた。質問を受けたときに、鹿屋市の資料が非常に役立ち、どのような支援や取組があるのかがわかるだけでも良かった。
教育長	この問題は一挙には解消しません。全国や鹿児島県における千人当たりの出現率・在籍率は38～39％程度であるのに対し、鹿屋市は11～12ポイント低く、27％程度です。一定の取組成果はあるものの、なお約250名近くの親子が厳しい状況にあり、我々としても真剣に対応していかなければなりません。
	(3) 第14回キッズチャレンジフェスタについて
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	これは、女子校の専門学科の生徒ですよね。

学校教育課長	はい。
教育長	良い取組が毎年、開催されています。参加者数が、600名ということで、そういうすばらしい行事であるということが、徐々に浸透してきて今日があると、そういったことだろうと思っています。 **(4) オープンスクール2026について**
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	オープンスクールでは、中学生の受験生の皆さんに向けて、PRも兼ねて学校の取組を紹介しています。今年の参加者は438人で、これまでの中では特に多かったようです。中学校３年生の生徒数は、近年では今年が少し増えている状況です。ぜひ女子高を受験して欲しいという思いがあります。女子高では、それぞれに工夫した良い取組みが行われていると感じており、台湾への派遣もあります。県主催事業によるシンガポール・マカオへの派遣にも参加しています。全体として良い取組みが進められています。 **(5)【書道部】全日本高校・大学書道展団体賞・大賞（個人）受賞について**
学校教育課長	資料に基づき説明
教育長	大賞を、個人の２名が受賞されたとのことですね。 実は、鹿屋はですね、伊之口鳳洲氏など、日本でも有名な書道の書家、芸術家の方がいらっしゃいます。中心となってさまざまな活動をしてくださっている井之上南岳先生も、一流の指導者で、後進の指導にも尽力されています。鹿屋高校や鹿屋女子高の書道の先生も、芸術家として大きな展覧会に作品を出品し、受賞されているような方です。そうした意味でも、女子高の生徒がこのように活躍することは大変うれしいことです。 また、昭和62年の濱里教育長の講話をまとめた古い本があり、その題字も井之上先生が書かれています。この頃からすでに県内第一線の書家として、鹿屋の子どもたちの指導に携わってくださっていたことが分かります。そうした先生方に支えていただいている状況は、本当に素晴らしいと思います。来週には、受賞した生徒たちが市長表敬に来る予定です。

	(6) サマーベースキャンプ2026について
生涯学習課長	資料に基づき説明
前田委員	途中で参加できなかった子どもはいましたか。
生涯学習課長	途中で、ホームシックにかかって、帰りたいと泣き出した子がいましたけれども、また１日あけて合流しております。
教育長	いったん、保護者が連れて帰りましたが、翌日、再び参加し、最後までやり遂げて、大変自信をつけて帰ったようです。
生涯学習課長	キャンプ最後のお別れのときは保護者の方、事務局側とも涙目でした。
教育長	良い経験でしたね。ある意味サバイバルな面が多いキャンプで、しかも今どきあまりない６泊７日という日程で、スマホなども全くないような環境で、大変良いキャンプを実施してくれたなと思っているところです。
遠矢委員	小学校は何年生から参加できますか。
生涯学習課長	５年生からです。
四郎園委員	送り出す親も覚悟がいる。
生涯学習課長	よくぞ送り出してくれたという風に思っています。
四郎園委員	少し余談であるが、私の真ん中の男の子２人は小学生のときに、子供劇場の企画で、10日間キャンプという行事に何年か参加していた。やはりそのときの経験が、もう今、中高生になっているが、とても生かされていると感じるので、ぜひサマーキャンプは続けてもらいたい。私も親として大きくなれたと思うので保護者の方にとっても良いと思う。
前田委員	鹿屋市外の保護者で、ゲーム依存の子を持つ方に会うことがある。こういう夏休みのイベントに、鹿屋市外の方を対象にすることは難しいかと思うが、鹿屋市はいいよねという声を聞くところである。夏休みの

	居場所があまりないのだろうと思う。
生涯学習課長	少し期間が短くなりますが、県内の青少年社会教育施設が実施している２泊とか３泊の事業にエントリーすることができると思います。
教育長	スタッフとして学校の教職員が多く参加していました。新採の養護教諭の先生とか、そんな人たちも来て、子供と一緒に活動していたので、そういう意味でもまた良かったという感じもありました。
生涯学習課長	職員を派遣してくださった校長先生からも、職員にとって、いい経験ができたとの感謝の声を頂いています。
	(7) 文化財ウォッチングについて
生涯学習課長	資料に基づき説明
教育長	夏休みに行う、この文化財ウォッチングの２日目が、天候が悪くて焼けなかったというのは、ここ10年ぐらいの中で初めてかもしれないです。いつも天気が良く、自分たちで作った作品を焼いていたので、そういう点では残念でしたが、用意していた雨天時用プログラムで、きちっとできたということです。
５	動議の討論
教育長	発言がないので、動議はないものとする。
６	その他
	(1) お知らせ ・市内中学校及び鹿屋女子高校の運動会・体育大会の日程について
学校教育課長	口頭で説明
教育長	運動会や体育大会は学校によってばらつきがあり、終了時刻や規模もさまざまです。昔に比べて時間や内容が少し簡素になっている面もありますが、年に１回の大切な行事ですので、目的をしっかり達成できるような運動会にしていきたいと思っています。今の子どもたちであればこそ、心身を鍛え、集団の規律や社会性を培い、学校を出て厳しい社会に出たときにも自立していけるようにと、さまざまな願いを込め

	て実施しているものですので、運動会を大事にしていきたいという思いがあります ・鹿屋市グローカルコンテストの開催について
学校教育課長	口頭で説明
遠矢委員	このスキット部門で発表する子どもたちの動画を、鹿屋のアピールで使えるのでは。同意が必要であるが、何か発信できるような形にしているか。
学校教育課長	今のところ、していないと思います。
遠矢委員	子どもたちが積極的に、鹿屋のよさをアピールしており、心に響く。聞いているとかなりアピール度が高い。
学校教育課長	最近、教育委員会もインスタグラムを開設しましたので、このようなツールを使って発信したいと考えています。ぜひ、インスタグラムも登録していただきたいです。
教育長	これまでは、自分の主張を英語で弁論形式によりスピーチするスタイルで実施していました。一方で、日本で一番レベルの高い中学生の英語弁論コンクールである、高円宮杯につながるコンクールとは別に行っていたため、二本立ての形になっていました。そこで、弁論部門は切り離して中学校からエントリーする形とし、グローカルコンテストは、プレゼンテーションと小学校のスキット部門として整理しています。なお、県代表として高円宮杯に出場することは大変名誉で難しいことですが、最近では鹿屋からも２年連続で出場しています。 このような整理がなされて、名称も、グローカルコンテストと変更したところです。 ・令和８年度鹿屋市家庭教育講演会の開催について
生涯学習課長	口頭で説明
教育長	申し込みが250名と説明していましたが、今から参加者を集めていくということですね。

生涯学習課長	はい。各小学校中学校の規模に合わせて、協力を依頼して参ります。
教育長	楽しみな家庭教育講演会です。
	・令和８年度鹿屋市生涯学習講演会の開催について
生涯学習課長	口頭で説明
	・かのやふるさと検定の開催について
生涯学習課長	口頭で説明
教育長	多くの人に周知して、参加を促すというところが大事なことになろうかと思います。まだ申し込みの期限はありますので、ぎりぎりにならないうちに、どんどん様子を見ながら、よろしくお願いします。
	・ラブヒコの歴史ひろばの開催について
生涯学習課長	口頭で説明
教育長	社会教育は強制的に参加をさせるということではないので、難しいところもあろうかと思いますけれど、多くの人に来ていただけるように、よろしくお願いします。ラブヒコもいるということですね。
生涯学習課長	はい。今年は高校生が、着ぐるみの中に入ってくれるボランティアに手を挙げてくれています。
教育長	せっかく、いいキャラクターがあるので、知名度がもう少しあればと思います。カンパチロウたちは、かなり知名度がありますが、ラブヒコは、少し知名度が上がらず、少し辛いところもあります。
生涯学習課長	今年、日本のゆるキャラのコンテストがあり、今、吾平のうがやくんが、エントリーをしており、ラブヒコもどうですかと話に出ましたが、遠慮されました。
教育長	幾つもいろんないいキャラクターがいるようです。
	・鹿屋看護専門学校第19回白爛祭（学校祭）の開催について

学校教育課長	口頭で説明
教育長	このポスターのデザインは、毎年、生徒が描いて作っているようです。
7	委員の報告
遠矢委員	野里国民学校の公演を鑑賞させていただいた。松永太郎さん達が、舞台袖で生演奏しながらの舞台だった。とても心にしみ、感動もあり、良い舞台であった。
四郎園委員	中高生にもっと見てもらいたい内容だなと思った。恋するシーンもあり、ぐっと中・高校生は入り込めるだろうと思った。歌声もとても美しくて、引き込まれる感じがあり、鹿屋市の昔の小学生の木の机が使われていて、「鹿屋」という感じがして、良いと感じた。
教育長	鹿屋に、劇団文化が根づいてきつつあるということが、とても素晴らしいことだなと思います。 山岡荘八をモデルとした、中岡荘吉という従軍記者の役がありました。純文学の川端康成もモデルにできたらいいと思いました。 昨年、多湖吉朗先生に講演していただきました。鹿屋と特攻隊と川端康成との関係、そして川端文学にどういう影響を与えて彼がどんな思いで、そのあとの作品にしたかといったようなことを研究して、本にしてくださっており、大変価値の高い文学賞を受賞されています。鹿屋に純文学の日本一等の文学者の碑が立たないかと思っているところです。
四郎園委員	話を去年聞いていたので、物語にもスッと入っていったのかなと感じている。このことを事前に知っていない人は、物語に入り込むまでに少し時間が必要なのかなと思うところである。
教育長	いずれにしろ、ヒメヒコに始まって、ワングレードまた上がり、野里国民学校の鹿屋版が文学的にも盛り上がりながら、鹿屋との密着度が上がったら、嬉しいことだと思います。鹿屋にはこういう演劇、劇団もあれば、オーケストラ、バレエなどもあり、文化の素材としては、かなりあるというところです。

前田委員	８月末に、吉田地域の家庭教育研修会に招かれ、コミュニケーションをテーマにワークを交えながら実施した。保護者と教員が一緒に参加し、参加者同士で感想を共有しながら、自分自身を見つめ直す内容とした。 研修では、思春期の小中学生の男児を育てる男性保育士から相談があった。子どもが母親に対して「うるせえ」など強い言い方をするが、どこまで厳しく注意してよいのか分からないという内容だった。 相談者は、強く叱ることにためらいがあり、思春期だからと受け止めつつ、適切な関わり方を知りたい様子だった。これに対しては、必要な場面ではきちんと叱ることも大切だと伝えた。 参加者は20代から50代まで幅広く、若い教員や保育関係者の間でも、家庭や子どもへの接し方の線引きに迷いがあることがうかがえた。こうした事例から、教育関係者であっても、子どもへの注意の仕方や、言ってよいこと・いけないことの判断が難しくなっている現状がうかがえた。
遠矢委員	学校では一切そういうのはしないだろうから、それが身にしみついているのでは。
教育長	学校でも、悪いことをした場合にはきちんと、指導することが必要です。学校教育法第11条でも、懲戒は認められるが体罰は禁じられています。懲戒とは、悪い行為に対してしっかり指導することであり、その際に暴力に及んではならないということです。したがって、子どもが悪いことをしたときには、厳しく指導することも優しさです。ただし、この区別を取り違えると、何をしてよいのか分からなくなるおそれがあります。
前田委員	研修に参加しているので、教育に熱心な先生、ご家庭だと思う。
教育長	こうした状況は、学校現場でも広く見られます。教育学部を出た新任教員の中には、一人一人を大事にするあまり、学級全体をまとめられず学級崩壊につながる例もあります。大事なものと許されるものの区別が、親自身も十分につかめないまま育ってきているかもしれません。そういった面でも、家庭教育講演会を実施することには非常に意義があります。
四郎園委員	９月７日に、大黒小学校の学校訪問に参加した。歴史のある学校で、校舎などは新しいとは言えないが、とても綺麗に使っている印象であ

	る。授業の方も、どのクラスも、学習の流れが掲示されていて、子供たちが見通しを持って授業を受けることができていると感じた。 　教室の掲示物に先生方のコメントがあったり、１つ１つ、何々賞と貼ってあったり、子どもたちはとても励みになるだろうと感じた。 　地域の協力が非常に大きいようで、行事もたくさんあり、とてもうらやましいと思うような地域であった。子ども会が今、休止中ということで、再開に向けて尽力されているとのことである。鹿屋市も試行錯誤中なので、一緒に頑張っていきたいという気持ちでお話を聞いたところであった。 　20分間読書の取組がなかなか難しいと、お聞きしたので、もっと地域の力を頼れば、あれだけ地域の方の支えがあるので、もっとできることが増えていくのではと思い、ぜひ、朝読みに行かせてください、という話をしたところである。
教育長	大黒小学校の学校訪問ですね。学校を挙げて一生懸命やっている雰囲気は、交流している台湾の学校にも伝わっているようで、３回目の交流に来る台湾の学校があります。リピーターになるというのは、交流して良かったということでしょう。学校自体が良い雰囲気だということですね。
遠矢委員	夏祭りの表彰を受けたとお聞きした。
四郎園委員	鹿屋中学校の踊り連で、総括を担当していたところ、小中学校の部で、第３位をいただき、先日表彰式に参加した。私は準備と後片付けだけであったが、子どもたちがとても楽しそうに元気よく踊ってくれたので入賞できたと思っている。とても嬉しい出来事であった。
教育長	このような取組を、他の校区や学校にも、見ていただいて、そしてまた、それぞれの子どもたちを盛り上げていくような、各学校の取り組みが普及し、広がっていけばいいと思います。下支えしてくれる人がいてこそできるので、ありがたく思います。
浜田委員	今日、学校行事や地域行事の報告が多くあった。ちょうど教員採用選考試験の結果が出ており、県立短大で関わっている希望者12名のうち、鹿屋市出身の２名が中学校教員として採用された。２名が教職を志した背景には、熱心な先生との出会いに加え、学校行事や地域行事で幼い子どもたちと関わった経験や、今日まさに報告のあったような経験が、教職への思いを高めたことが確認できた。こうした取組は、教職に限ら

	ず、鹿屋で働きたい人材の発掘や育成にもつながっていると考えられる。今後も取組を充実させることで、将来的に大きな成果につながると感じた。
教育長	嬉しいことですね。
浜田委員	別々に話したが、鹿屋の２人だけが、そのことを言っていた。やはり、地域の中に他の市外の人たちがうらやましがるようなものが鹿屋にあるというのは、よいことだと思う。
教育長	また、課長さん方が張り切って新たなアイデアを出してくるかもしれません。
浜田委員	もう一点、鹿屋はバレーボールが盛んな地域である。中学校のころから年代別日本代表に選ばれていた川内商工高の選手が、再び年代別日本代表に選出された。また、別の１人はビーチバレーのフル代表に選ばれている。今後も活躍の場が増えていくことと思うので、鹿屋とのつながりを大切にできたら良いと思う。
教育長	次回の定例教育委員会は、令和８年10月８日（木）15時から教育長室で行う。
８	閉会
教育長	以上をもって９月定例教育委員会を閉会する。 以上